



# 深山たかし

発行元：深山たかし後援会  
 上尾市大字上1774-7  
 048(776)0575  
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp  
 ホームページは検索サイト  
 ”深山たかし”で閲覧できます。

## 議会レポート

### 安心・安全対策

#### 『迷い人』への対応

最近、防災行政無線から「迷い人」のお知らせが多くなったと地域の皆様から指摘がありました。

メールマガジンを登録しておりますと、頻繁に検索願が通知されています。

特に、高齢の方が行方不明になってしまいうケースが気になりましたので質問をしました。

答弁では、平成二十二年度、防災行政無線でお知らせした迷い人は十八人でその内十七人が、六十五歳以上の方でした。

本年度も八月末時点で十名放送されました。内訳は、

小学生が二人、高齢の方が八人との事でした。早期発見の対策として、徘徊高齢者等探索サービスがあります。

このサービスは、おおむね六十五歳以上の在宅の徘徊高齢者と初期の認知症の人を介護する家族が対象で、GPSを利用した探索端末を貸し出すサービスです。負担額は、月額使用料の約一割(二百三十一円・初期費用二千円)、(同五百八十円・初期費用なし)となっています。

平成二十二年度の利用者は十三人で探索依頼件数は延べ百五十三回とのことですが、利用されている方はまだ少数です。お困りの方は、

このサービスを活用されたいようにお願いいたします。利用の申し込みは、地域包括支援センターへ。

今後の迷い人の対応は、整備作業中の『要援護高齢者支援ネットワーク』の中で対応を検討していきたいとの回答を頂きました。

また今度、防災行政無線で迷い人の搜索結果の報告がないことへの、お叱りを多くの皆様から、頂戴しておりましたので、要望したところ、放送する旨の回答を頂きました。

#### 区画整理中の交通安全対策

上平第三土地区画整理事業(上平公民館周辺)は、平成元年に施工面積三千八百二ヘクタールの事業認可を取得し、平成二十七年の完成に向けて事業を推進しております。

平成二十二年度末現在の進捗率は九二・一%。事業の終盤を迎え、道路形態もほぼ完成し、車両の

交通量も増加してきていますが、白線や道路標識の設置が遅れていることから、出合い頭の衝突事故などが発生しています。

また、地域の子どもさんを抱える皆様から道路が拡幅したことで車両のスピードを上げてくる車両が増え、心配する声が多数寄せられています。

説明によると、区画整理地内の道路は、道路交通法上「道路」になっていない為に正式な標識が設置できないそうです。

しかし、現実問題として危険な交差点が存在していますので、注意を喚起するような看板や路面標示、分り易いサインの設置などの安全対策を要望しました。



注意喚起の看板

### 支え合いの 仕組み作り

核家族化が進み、他人との関わりに煩わしさを感じている方も増えてきています。

悲しいことですが、自分だけがよければいい、という考え方も正当化されてしまふ風潮も生まれている様に感じられるこの頃です。

一方で孤独死がクローズアップされ、社会問題になってきています。

人間はひとりでは生きていけません。三月十一日以後、人々が支え合い復興に向け頑張る地域のニュースが、日本人の共感を生んでいます。

誰かのために何かできないければ、自分のために何かをしてもらえるような関係は生まれません。

市内、尾山台団地では、高齢化率が30%を超えていることもあり、自治会が主体となって住民同士が助

け合う「共助」の取り組みをしています。買い物や通院の為に乗り合いワゴン車「たすけあい号」の運行では、運転手や付添人としての住民の協力があり、「ふれあい食堂」事業では調理する人が住民と言ふ事業が全国的に注目を集めています。

このような取り組みを全市的に展開出来ないかを尋ねました。

市では、社会福祉協議会などの関係団体と連携し、事例を紹介し「地域の支援ネットワークの構築」を進めて行く計画にあるとのこと。

自主的に様々な組織を作り活発な動きをはじめている地域もあります。

しかし、サポートする人材がいつも同じ顔ぶれである問題も多く、事務区長さんから指摘され、負担軽減の意味からも組織の整理統合は、急務な課題でもあります。

これから、不可欠な施策です。

### 財政問題について

東日本大震災に加え、急激な円高によって、国内経済が冷え込んで来ています。来年度予算の財源確保が極めて難しいと思っています。

【問】当初予算が増加傾向にある理由

【答】近年では、経常的には、生活保護費などの社会保障関係経費の自然増、政策的には、国策としての子ども手当支給事業の実施など、民生費の増加が当初予算の増加傾向の大きな理由の一つとなっています。

【問】適正な予算規模について

【答】近年の予算編成では、社会保障関係費が、引き続き増加していることなどから、財政調整基金等の主要三基金の取崩しを余儀なくされています。

平成二二年度当初予算では、十七億三千万円、今年度当初予算においては、二十二億

億四千万円を主要三基金から取り崩して、予算を編成しているのが現状です。

基金の取り崩しに頼らない安定した持続可能な財政運営ができるような予算規模が望ましい。

【問】震災の交付金への影響について

【答】今年度は、国における震災対応の財源確保の影響により、社会資本整備総合交付金等の国庫補助金の減額が見込まれる。

また、二四年度についても、法人市民税等の市税の落ち込みが見込まれるほか、被災地の企業等の影響により、国税である法人税が大きく落ち込むことが予想され、それを原資とする地方交付税は、大幅に減額となることが想定されるところ

来年度は、事務事業や施策の大幅な見直しが必要になってきます。

美辞麗句を並べて問題を先送りしてしまいませんと、市民の負担が増加します。

行財政改革に真剣に取り組む時期にきています。

### 編集後記

今回の一般質問は、地域の皆さんから『これおかしいでしょ』と度々話題に上る防災行政無線の「迷い人」の問題を取り上げました。

搜索要請の放送が出されているのに搜索結果の報告がなされていないことで、「見つかる事をいつまでも気にかけてしまふ。翌日の日中でも良いので防災行政無線で放送してほしい」と何人もの方からお話がありました。

自分の事のように他人の安否を心配されている皆さんに心が熱くなりました。

小さな事でも、要望が形になり、市の方針が良い方向で変更されて、皆様に喜ばれると、議員として嬉しさがこみ上げてきます。

議員をしていて良かったと思える瞬間でもあります。